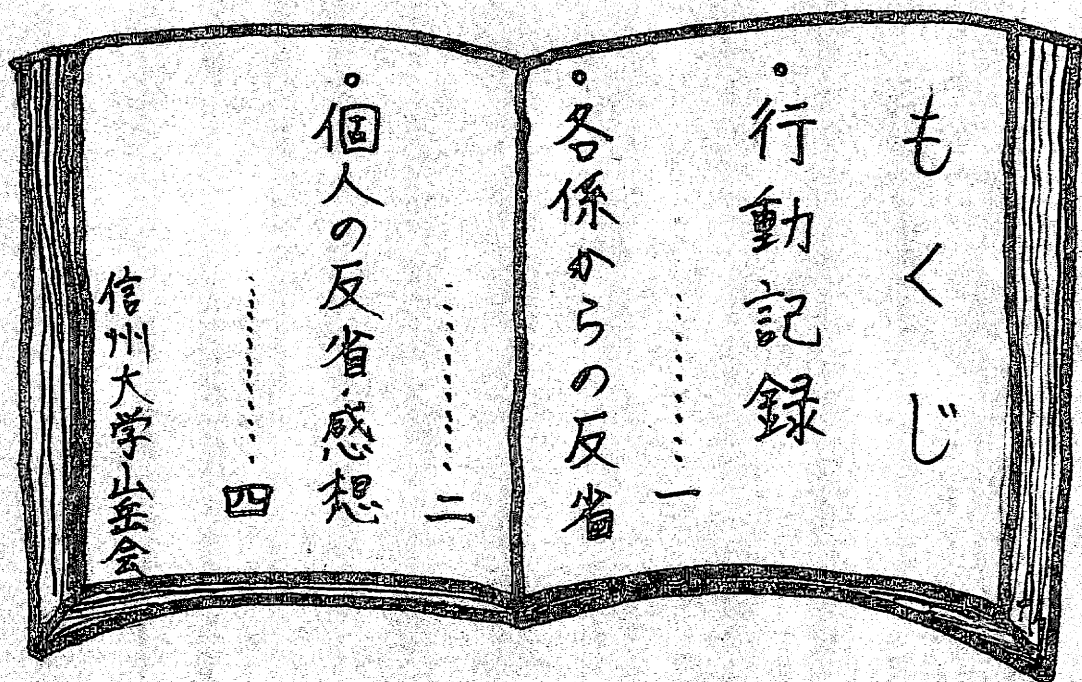


プリ冬合宿 報告書

2001年11/23~11/25

於 遠見尾根~五竜岳ピストン



信州大学山岳会
SAC

記録

表紙にまちがえて「2000」と書いてしまいました。
ゴメンナサイ。皆さんたくさん書いてね。

ブル冬記録長 井上 あゆみ

11月23日(金)

- 5:30 BOX出発 ○ ふーいーカール-カ食のこ
- 7:00 とおみ駅着 ○ にしろとは思おもぢぢ
- 9:00 アノ平駅発 ○ た。
- 9:20 地蔵の頭 ○ 埋没かこんに恐いとは
- 9:35 見返りの坂 ○ 考えていせんで、絶対
- 10:10 一ツ背髪 ○ 学館には巻きこみれん
- 10:35 小遠見山 ○ 片字
- 11:15 中遠見山 ○ 急かかーい。拍子抜け。
- 12:20 大遠見山 ○ 強、明日は無事山頂にこ入
- 13:10 西遠見山T.S. ○ おん

到着後 ビーコン訓練、埋没体験

11/24(土)

- 5:00 起床 ○ 井上か"山頂に7つた
- 6:30 出発 ○ の2気けんがわるいらしい。
- 8:15 白岳 ○ 27人……
- 8:20 五竜小屋 ○ 「高気なすばりて無事山頂に
- 8:50 発(特) ○ あ-善た。拍子抜けとは
- 10:25 五竜岳 ○ このこですな、そん。吹雪
- 11:00 発 ○ その他は冬合宿にもちこし
- 12:40 五竜小屋 ○ たな。故、恐ろしい
- 14:10 T.S. ○ (K)



聖山、雪山
ズボリはいかた。
もと、やせよー、と。
葉太郎

えい、高谷が11秒巻台で巻走る?
50mで水で100mで。天外の車突
重車軽車たが。
佐.

11/25(日)

- 5:00 起床 ○ み子さきお、瀧水
- 6:35 出発 ○ こん。山頂に立、たこ
- 7:05 大遠見山 ○ よりほ、等に芝、義
- 7:55 中遠見山 ○ かある。冬合宿まで
- 8:15 小遠見山 ○ あとおろか、精進
- ~~8:55~~ 地蔵の頭 ○ しましう。
- 9:10 アノ平駅 ○ 佐

帰りカチレキャビンにて……
和へ昼飯し食いた行こうよ

松等

初午前下山合宿完了記念所感此記
埋没、まいほう、マイホツ……この……
尽きる。でも今年初の雪の感想は山
への生活も思ったさせてくれた。悪天でも
山が好きに作れたら本物かな? 片字

装備反省感想

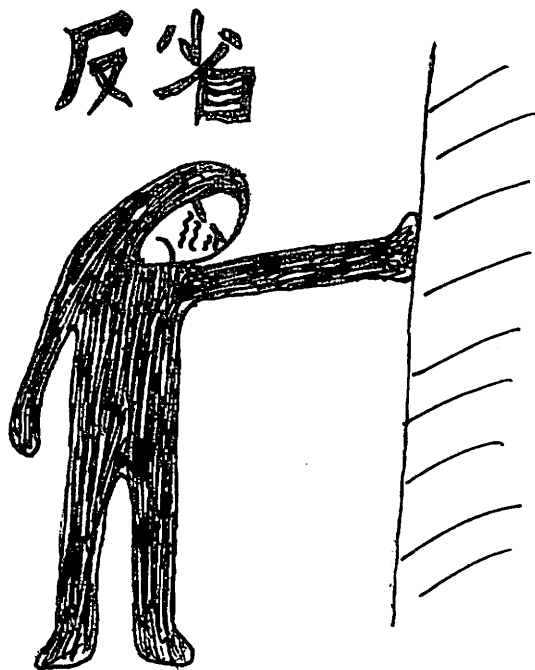
121

反省

- テントには内張を
- 雪ガラスにはナツカンを
- コツフェルは片手で持つもの
- Xタのゴミくわはとってみく
- スノーシューは最初からビ丁をつけてみる
- 鋸板が小さい。ナハを囲める大きめで
- セストン用にはナハグがある。
- 2米用クリック7°は使える。

感想

以上反省を羅列したが、今回の最大の反省が「ものをきえ係」になりすぎたことである。タダものをきえ、用途等を考えない装備係になってしまった。装備係は生活、行動、あらゆる冬山での場面を考え、その上で使用する道具を選んでいく。そういう仕事である。



会計渉外の反省

松寄林太郎

*会計の報告
収入 80000 円
支出 56129 円
残金 23871 円

残金は、冬合宿の会計にまわしました。

*ゴンドラの往復とも、白馬の新谷さんがチケットを手配してくださった。本当にありがとうございました。

以上

エッセンの反省

98S6024H

横山 勝丘

- ・ 申し訳ありません。ベミカン、乾物の量半端じゃなく多かった。今後担当の人は気を付けるよう。後、乾物は何でもかんでも入れるのはよくない。メニューに合わせて、それに合った乾物を選ぶべし。
- ・ 今回、調味料袋を作らずに全て食料袋にまとめたが、余計な袋が出来なくてよいと思いきや、結構食料袋から茶の袋を探すのが面倒だったり、それをパッケージしている袋のゴミが出たりと、一長一短だった。日数が少なければ調味料の量も少ないからこれでもよいが、長期はやはり分けた方がわかりやすいし、ゴミも出ないと思う。
- ・ エssen係の仕事ではないが、 α 米のクリップは良かった。
- ・ α 米の予約は冬合宿の分も合わせて早めにやって置くこと。
- ・ ジャスコばかりに頼っていないで、安くて質の良い店を発掘すること。私が二年生で係をやった時は西源を最大限利用しました。

プレ冬 反省・感想

上級生は皆口々に「こんなの冬山じゃない」とか「これは春山みたいだ」とか言っていました。でも雪はサラサラしていたし、ズボリながら歩いたり、水を雪から作ったりするのは新鮮で楽しかったです。上級生が雪に何の感動も示さないところを見ると、冬山ではもっともっと雪が降って、嫌になる程なんだろうと思いました。確かに今回は雪も少なく、風もなく、気温も高かったです。これらの条件が厳しくなることにより、自分の動きがどのくらい鈍くなるのかはまだ分かりません。いつも皆を待たせてばかりです。皆と同じペースで歩きたい。そのためには体力ですね。冬合宿へ向けて精進します。

井上 あゆみ

感想反省宿合冬しづ 生哲寄片一年

今回の山行を思い返してみても、浮かんでくる言葉は『埋没』『呼吸』『喘ぐ』『北斜面』『鼻水』『山』である。不思議と、山頂についた印象は、ここからの眺めのみで、頂上に立ったそれは極く小さい。先輩方は冬山というより晩秋合宿に等しいと言っており、僕も三日間の晴天に恵まれたこの山行はかえって異和感をおぼえた。「白い山は素晴らしい」と言うとき、それは晴天を前提としている自分に気がつく。悪天の山をも好きだと言えるようになったら、本当に山が好きだと自信をもってと言えるようになる気がした。そうなれば、今回予想以上に恐怖であった埋没、つまりは雪崩というものも山の一面として受容することができるようではないかと感じた。いつか山と独りで対峙してみたいと思い始めたところである。

反省として、またまた体力の不足を感じさせられるのもあるが、普段の小行での常識もまた奥になっていない所もあり、下界での課題にしようと思う。それから、ヒールコンをはじめその他諸々の山の知識というものを少しずつ蓄えるようにしようと思う。

プレ冬合宿 高谷 英太郎

山岳会に入会してから早8ヶ月弱。とうとう冬がやってきた。今回のプレ冬合宿で初めて冬山を経験したわけだが、ここでは様々な観点から合宿を振り返ってみたいと思う。

まずテントでの生活であるが、今回は慣れていないということもあって自分が果たすべき仕事を完全にこなす事が出来なかった。改善すべき点を挙げると、テント設営後のテント内の整地・整理を素早くこなすという点と、雪入れの時テント内に、雪を入れないという点、朝の準備を迅速にこなすという点が挙げられる。

続いて行動全般に関する反省であるが、改善すべき点を挙げると、汗をなるべくかかないように自分でうまく調整するという点、岩が露出した雪面でのアイゼンでの歩行、読図の技術等が挙げられる。

今回のプレ冬合宿は天候も安定して、これで冬山を知ったという事にはならないと思うが、この合宿で失敗した事を改善して、完璧な状態で冬合宿に臨んでいけたらと思う。

山に関してはまだまだ甘チャンな僕だが、山を楽しみたい。山をずっと好きでいたい。山を楽しんだり、好きでいられるのも自分の実力次第だなあと思う今日この頃である。

山
人

フワ冬感想・反省

佐.

反省

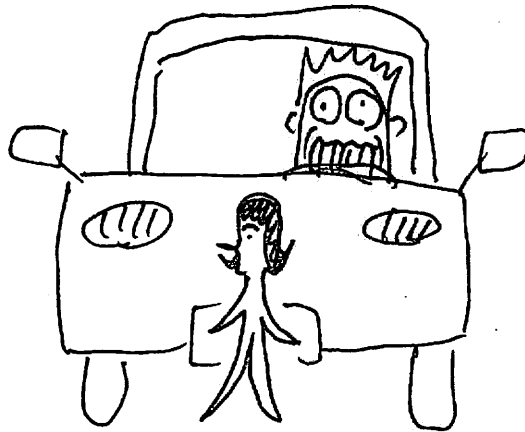
初めてSLをやらせてもらったが、仕事が多く、テニト割りもしょぼしょぼ考える程度であった。もう少し、何か仕事でSLの役割として活かせる場面があったのではないかと思う。

個人としてはマスコットが折れてしまった。軽くて丈夫なアルミ製が良い。しかし値段が5000yenかなり高価。う〜みまら出費。冬は灯油やらガスやらとにかくかかる。イタイ。

感想

葛を見た……

みまさん
安全運転
で行きましょう。



もうちょっとで、
車の免許が
とれる……
不吉ナリ

フシ冬の反省・感想

「高気圧すっぽり」の中ウン年振りかのフシ冬登頂を果した…。おかしい。ワカンを履いた覚えがない。スコップを取り出した場面もない。ラッセルのラ字も出ていなかった…。

全て、利重カ高と、この微妙な時期の交せる技であろう。

そんな条件の中でも、合宿がたるまないように上級生同士気を配っていたのは良かった。

フシ冬で教えるべきこと確認すべきことはそれなりにできたのではないだろうか。

フシ冬は名前の通り、冬合宿につながるためのものだ。

各自が冬合宿へ向けて今回の反省を生かすよう努力しよう。

最大の

今の積雪量はあてにならない。血を吐くほどのラッセルを強いられるかもしれない。

この成りを冬合宿でも再現したいと、強く思った五竜の頂だった。

4年 横山 光生 (krock)

プレ冬合宿反省感想

98S6024H 横山 勝丘

今回は冬山ではない！一年生はこれを肝に命じるように。

生活に関しては皆うまくやっていたと思う。基本は夏と変わらないのでより一層の向上を目指すべし。ただ、朝などもっと気合いを入れてすばやくやれ。いつまでもポケットとシュラフの中に入っていないこと。

行動に関しては、一に体力・二に体力・三四に根性・五に体力。冬合宿に行きたいのであったら体力強化は不可欠。一人一人の自主性に期待する。まあ、雪の五竜に立ったことは良い経験だったのでは？

合宿に関しては、今回は成功して当たり前。天気が良くて雪も少なかったのだから。ただし、行動・生活・雪崩対策の講習など、三日間にわたってそつなく出来たのは評価できる。冬合宿前に良い活動が行えたのでは？

しかし、冬はそう甘くない。厳しい環境の中で「そつなく」行動することこそ重要である。すばやくかつ確実に物事をこなす能力と、厳しい環境に対処できる能力、この二つを同時に満たすことが必要。ここでもう一度意識を高めよう。

それにしても天気の良い山はいいね。

プレ冬合宿の反省感想

松寄林太郎

久しぶりにプレ冬合宿は成功した。しかし、好天と雪の少なさを考えれば当然のことといえよう。一年生は、それでも一通り冬山の生活を体験した訳で皆で山に行くのも久しぶりであったから意味のあるものになったと思う。上級生にとっても、それぞれの役割がだいぶわかって来たように思う。冬合宿に向けて皆の思いが高まっているのを感じられた。冬合宿はとても厳しいものになるだろうけど後一ヶ月間それぞれこの合宿で足りないと思ったことをなんとかしてほしい。

プレ冬合宿の反省と感想

まず何よりも合宿成功やったね。と言っても、あの恵まれた状況で成功できなかったら、問題だ。しかし、全員で山頂に立つ事はいいもんだ。

今回はリーダーという立場で合宿に参加した。合宿の運営や隊人を動かすことの難しさを知った。この事は今度自分が動く立場において役立つと思う。

プレ冬はそれ自体で終わりではなく、あくまでも来るべき冬合宿へ繋げるためのものである。合宿成功に意味があるのではなく、それぞれが冬合宿に向けて自分の足りない所を認識することに意味がある。それは各自が自覚し、行動に移してもらいたい。

年々冬らしさがなくなっているこの時期。「雪がない、寒くない。」と物足りなさを感じつつ、「こんなんでも本当に冬になるのかよ!!」とも思うが、しかし冬は必ず来る。寒くて、厳しくて、怖い冬が来る。あの積雪、寒さ、風を思い出す度に体が震える。「ぶるぶるっ」そして冬合宿のルート of 厳しさを思う。やらなくては…、力が入る。

なんてことを考える今日この頃…。

4年 梶原 恵

表紙 井上
編集 梶原

MSAC